

収 入 等 申 告 書

年 月 日

関 市 長 様

申 請 者 (被保険者) 住所

氏名

住所

代 筆 者 氏名

続柄

私の世帯の収入資産等（ 年中）について、下記のとおり申告します。
事実と異なることが判明した場合は、軽減の適用を取り消されても異議はありません。

1. 世帯の市民税課税状況（該当に✓）

☐ 課税されている

☐ 課税されていない

2. 〔世帯全員〕収入及び預貯金等の状況（該当箇所に記入）

氏名				
続柄		本人	夫・妻・子・（ ）	夫・妻・子・（ ）
収入の内訳	①公的年金 国民年金・厚生年金・共済年金等	円	円	円
	②その他年金等 遺族年金・恩給・障害年金・雇用保険・老齢福祉年金等	円	円	円
	③給与収入	円	円	円
	④事業・不動産収入（所得金額）	円	円	円
	⑤その他の収入	円	円	円
	合計①～⑤	円	円	円
預 貯 金 額		円	円	円
有価証券（評価概算額）		円	円	円
その他（現金等）		円	円	円

3. 〔世帯全員〕自己居住用及びその他日常生活のために必要な資産（土地・家屋等）以外の所有状況（該当に✓）

☐ 所有している

☐ 所有していない

4. 被扶養状況（申請者本人が負担能力のある親族等の扶養となっているか）（該当に✓）

①個人市町村民税の扶養控除について

☐ 扶養親族となっている

☐ 扶養親族となっていない

②健康保険などの医療保険について

☐ 扶養親族となっている

☐ 扶養親族となっていない

5. 〔申請者本人〕介護保険料の納付状況（該当に✓）

☐ 滞納している

☐ 滞納していない

《注意事項》

〈収入の区分〉

・収入については、申請者本人・配偶者及び世帯員全員のものを記入してください。

（配偶者は別世帯であっても、必ず記入が必要です。）

【公的年金、その他年金等の収入】年金（恩給）の源泉徴収票や年金振込通知書等で確認し、収入額を記入してください。年金の種類が非課税年金（遺族年金、障害年金、寡婦年金等）の場合も必ず受給額を確認してください。

【給 与 収 入】会社の源泉徴収票等で確認し、給与収入額を記入してください。

※所得額（必要経費を控除した額）ではありません。

【事業・不動産収入】確定申告書で確認し、営業や農業、不動産収入等の所得額（必要経費を控除した額）を記入してください。※収入額ではありません。

【そ の 他 の 収 入】上記以外に収入がある場合は、記入してください。

〈預貯金等の額〉

・通帳は、申請前1週間以内に記帳した状態にしてください。（通帳の写しを取らせていただきます。）

・通帳の写しを自分で用意する場合は、通帳の名義及び年金の入金、最終残高が確認できるページが必要です。

・定期預金のページについては、定期預金の預け入れがない場合も空欄のページの写しの提出をお願いします。